

2013年

1  
月号

# 組合会報

〈発行所〉  
**埼玉県鍍金工業組合**  
 〒331-0811  
 さいたま市北区吉野町 2-222-7  
 TEL 048 (666) 2184  
 FAX 048 (652) 7631  
 〈発行人・理事長〉  
 仁科 俊夫  
 〈編集人・総務委員長〉  
 井上 宣雄

### —今月号の主な内容—

新年の挨拶 理事長 仁科 俊夫 ……………2	関東甲信越静ブロック会議開催 ……………7
公害防止管理者定期研修会開催 ……………3	全国鍍金工業組合連合会 第50回全国大会 ……8
視察研修旅行 ……………5	彩の国ビジネスアリーナ 2013 ……………9



145号



# 新年の挨拶

埼玉県鍍金工業組合 理事長 仁科 俊夫



あけましておめでとうござい  
ます。

昨年、政治の世界では中国の指導者の交代、米国の大統領選挙といった新しい体制への移管があり不安視する見方もあったが、なんとか軟着陸したようである。

国内では、リーマンショックは乗り越えて安定したかに見えた経済は相変わらずの低迷状態を脱することが出来ないでいる。

さらに経済問題だけではなく、一部の国粋主義によってもたらされ尖閣問題、竹島問題、さらには北方領土にまで飛び火しかねない状

況で、世界との調和を図りながら存続していたわが国もここまで行ってしまうと、まるで鎖国に向かっていると言わざるを得ないような状況かもしれない。環太平洋経済協定(TPP)の交渉を加速しなければと一昨年のこの紙面で書いたが、未だに結論が出ずこの体たらくである。

7000億円の赤字のパナソニック。そして4000億円の赤字のシャープであるが、前号で書いたシリコンの代わりに酸化物質半導体「IGZO」を採用した新しい液晶パネルの生産を来年から本格的に始めるという。ただ、本来の得意な大画面ではなくてスマートフォン向けの為に設備の稼働率は低いが、『省エネ』『解像度』のアドバンテージで新たな世界の需要を掘り起こし、技術力で世界から評価を受ける『MADE IN JAPAN』の実力を認めさせた

昨年の10月24日に輸出広域首都圏輸出製品支援センター(MTEP)が業務を開始し、オープンングセレモニーで産業界を代表して埼玉県鍍金工業組合が選ばれ理事長として挨拶をさせて頂いた。

これは、1都4県の公設試験研究機関である地方独立行政法人・東京都立産業技術研究センター、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業技術研究所、神奈川県産業技術センター、長野県工業技術総合センターが連携して国際規格についての相談や情報提供、これらの規制評価試験など海外進出を目指す企業を技術面から支援していこうと云う趣旨である。特に専門員がフリーで相談に応じてくれるとの事で、是非とも活用したいものである。

世界の国では、国家戦略を含めて、『CEマーキング』『EMC指令』『REACH規制』のように各々の国が規制を設けて自国に有

利な展開を進める事は当然である。それらの情報をいち早く察知して対応策を練る必要があり、恐れおののいて騒ぎ立てていても何ら発展が無い。

これからの貿易立国として存在しなければならぬわが国、そして、表面処理を生業としている我々業界は生き残りを掛け、かかる問題に冷静に対処して知恵を出す必要がある。



# 「平成24年度公害防止管理者定期研修会を開催」



「本日はお忙しい中、たくさんの方にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。毎年この公害防止管理者定期研修会には、組合員の皆様に100%に近い形でご出席を頂いております。本当にありがとうございます。ぜひ今回もしっかりと研修をしていただければと思います。本日はよろしくお願い致します。」

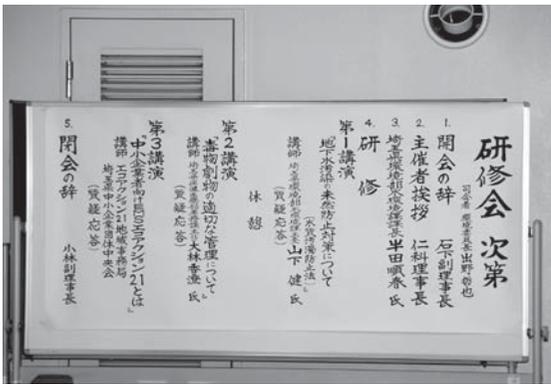
続いて、埼玉県環境部水環境課課長の半田順春様より次のようのご挨拶を頂きました。

平成24年10月5日(金)午後1時30分より埼玉会館にて、事業所責任者及び公害防止管理者を対象に研修会を開催した。  
出野哲也環境委員長の司会で行われ、石下一明副理事長の開会の辞に続き、仁科俊夫理事長が次のように挨拶した。

「埼玉県鍍金工業組合の皆様方には日頃、水環境の保全について格段のご協力を賜りまして、本当にありがとうございます。またこういう形で公害防止管理者の研修会を毎年行われているということの中で、おそらく私の知る限りでは組合単位でこういった研修が毎年行

われているのは当組合だけではないかと非常に感心しております。今後もこういった講習会を続けていただければ皆様の研鑽を積み重ねていただければありがたいと感じております。

埼玉県の水環境の状況ですが、おかげさまをもちまして、年々右



肩上がりでも向上してきております。ただ、昨年23年度の有害物質による環境基準超過が1件ございました。有害物質の超過は非常に影響が大きいので、これをゼロにするために環境管理事務所をはじめといたしまして、皆様方のご協力を得ながら、両者で有害物質による環境基準の超過がないようにしていきたいと考えております。」

## 第1講演

「地下水汚染の未然防止対策について(水質汚濁防止法)」

講師 埼玉県環境部水環境課 主査 山下 健氏

## 講演内容

- 1、平成23年の水濁法の改正の背景について
- 2、水濁法の改正の内容について
- 3、構造等に関する基準の設定及



- び定期点検の方法の基本的な考え方
- 4、対象となる施設の構造・設備について
  - 5、適用対象とする施設の範囲について
  - 6、届出に関する留意事項

第2講演

「毒物劇物の適切な管理について」  
 講師 埼玉県保健医療部薬務課  
 主任 大林 香澄氏

講演内容

- 1、毒物及び劇物取締法の目的
- 2、毒物劇物取扱者
- 3、毒物劇物の取扱
- 4、毒物劇物の表示
- 5、毒物劇物の交付
- 6、毒物劇物の廃棄

第3講演

「中小企業向けEMSエコアクション21とは」  
 講師 エコアクション21地域事務局  
 埼玉県中小企業団体中央会  
 連携支援部部长 潮田 教弘氏  
 エコアクション21  
 審査人 岩崎 登氏

講演内容

- 1、めつき業界を取り巻く状況とめつき会社にとってEMSの有効性
- 2、中小企業向けEMSエコアクション21とは

- ① エコアクション21の要求事項
- ② エコアクション21構築の支



援システム

- ③ エコアクション21とISO14001の比較

「今回の水質汚濁防止法改正について」

今回の水質汚濁防止法の改正内容につきましては、平成24年3月に全鍍連より配布されました「電気めつき業 地下水汚染未然防止

のための水質汚濁防止法対応マニュアル(第1版)」にも詳細な内容が記されておりますので、ご参考にしてください。

なお、各事業所におきましては、法改正に対応するため「有害物質使用特定施設と設備の点検チェックシート」及び「有害物質使用特定施設等の使用の方法に関する管理要領」を作成していただくようお願い致します。作成例は、全鍍連より配布された対応マニュアルのP15～P17に記載されております。ご不明な点は、組合事務所へお問い合わせください。

環境委員長 出野哲也



# 視察研修旅行

〜塚田理研工業株式会社（長野県駒ヶ根市）〜



スのドライバーと添乗員の的確な判断による予定コース変更にて、一番目の見学先の「マンズワイン 勝沼ワイナリー」に予定時刻に到着することが出来ました。

まずビデオで施設の説明を受けてから工場内を見学、ワイナリー限定のワインをはじめ各種ワインの試飲をして。その後昼食を同施設内の「バーベキューハウス万寿園」でバーベキューを楽しみ二番目の見学先の「恵林寺」へとバスを走らせました。

埼玉県鍍金工業組合は、（職場環境の改善、福利厚生の実をを図るための先進的な企業等の視察見学を目的とする）視察研修旅行を平成24年10月14日（日）〜15日（月）に実施しました。

初日大宮駅を午前8時に出発、途中中央高速の事故による通行止めのためトラブルに合いながらも、バスのドライバーと添乗員の的確な判断による予定コース変更にて、一番目の見学先の「マンズワイン 勝沼ワイナリー」に予定時刻に到着することが出来ました。

53歳にて病死、後に快川和尚の導師により恵林寺で葬儀が行われた。見学（参拝）終了後、宿泊先の上諏訪温泉へとバスを走らせた。宿泊先の宿「浜の湯」に到着し、旅の疲れを温泉に入り癒しました。宴会を仁科理事長の挨拶、今井相談役の乾杯でスタートし組合員相互の懇親を深めた後、小林副

理事長の締めでお開きとなりました。



理事長の締めでお開きとなりました。

2日目は、前日の疲れを誰一人感じないほどに元気に集合、今回の視察研修先の「塚田理研工業株式会社」様へと宿泊先の浜の湯を午前9時定刻どおりバスにて出発しました。

塚田理研工業株式会社様は、長



平成25年1月20日



野県駒ヶ根市にあり、中央アルプスと南アルプスの間に位置した天竜川沿いの低い位置に建てられており、非常に景色の良い場所でありました。又、昭和46年にいち早くイオン交換式総合排水処理施設を新設するなど環境負荷低減に全力で取り組み、排水のリサイクル、プラスチックめつき部品のリサイクル化、めつきに使用される金属資源の回収に「より確かな環境社会を目指して」取り組んでいました。

塚田理研工業株式会社様に到着



後、会社の説明を受けるため組合員一同が一室に案内され、総務部長の竹村氏の挨拶を受けた後、当組合の仁科理事長より今回視察研修を受け入れて頂いた事への御礼の挨拶をして視察研修がスタートしました。

竹村総務部長の進行で、まずはビデオにて会社の説明を受け、プラスチックめつき、塗装、プリント基板めつきを行う企業と言う事を十分に理解した後、二班に分かれて竹村総務部長、工場長の米山氏



の案内で工場を見学させて頂きました。めつきライン、塗装ライン、排水施設(排水リサイクルセンター)を説明を受けながら見学した後工場内に設けられている車庫に案内され、日本に数百台と言うレクサスのLFAと言う車を見せて頂きました。エンジンを掛けてもらい運転席に座らせてもらうなど例年の視察研修とは一味違う感動を受けました。見学を終わる会社正面で武村総務部長、米山工場長もご一緒に記念集合写真を取

り、両名の見送りを受け次の目的地へとバスを走らせました。

二日目のお昼は、以前テレビ「東京ガリアの夜明け」で放映されて話題になっている長野県伊那市の伊那食品工業株式会社の敷地内にある「かんでんぱばガーデン」にて自家農園で取れた新鮮野菜を使ったヘルシーな創作寒天料理を食べ旅行で疲れた胃を癒しました。昼食後かんでんぱばショップにて100種類以上あるかんでん製品を買い物して、敷地内のガーデンにて休憩した後、最後のお土産の買い物をするためバスを走らせ、レストラン「こまがね」にて買い物を済ませて今回の視察研修の全日程終了、一路大宮へとバスを走らせました。

定刻に大宮に無事到着解散となりました。参加者の皆様本当にお疲れ様でした。

総務委員長 井上宣雄

# 平成24年度 全国鍍金工業組合連合会 関東甲信越静岡ブロック会議



調査派遣団の報告を中心とし天災の恐ろしさ、危機管理対策の重要性についての内容に重点をおいた会議で、先行きの不安と復興に向けての現地の方々の意気込みを思い、複雑な気持ちで帰ったことを思い出します。

今年度は反対側の西側に移り、静岡県浜松にて、未来づくりをメインテーマとして開催されました。

東京と大阪の中心に位置し、人口は80万人を超え、面積は全国第2位。  
楽器と車、そしてうなぎの街。  
静岡県浜松市にて、神奈川・山梨・静岡の3県の主催で、平成24年度関東甲信越静岡ブロック会議が華々しく開催された。

昨年は震災の爪痕が感じられる茨城の大洗で、東日本大震災現地

第一部の会議は、全国鍍金工業組合連合会副会長もなされている神奈川県の栗原理事長の開会の辞につづき、同じく静岡県の神谷理事長より幹事県のご挨拶で幕を開けた。  
「ここ浜松でブロック会議が行われるのは13年ぶりの事」だそうである。

つづいて、ご来賓の方々が紹介され、全国鍍金工業組合連合会の



伊藤会長からご祝辞の言葉をいただき、今年行われた他の4つのブロック会議の様子と、本年12月5日に東北・北海道表面処理工業組合の青年部として『北青会』が立ち上げられるとの報告があった。

議事は全国鍍金工業組合連合会の近藤専務理事より各組合事業、そして全鍍連の取組の説明がなされた。

れ、「めつき業のビジョン」の策定

について。ほう素、ふっ素、窒素等ならびに亜鉛に関する排水規制への対応について。水質汚濁法の一部改正、毒物及び劇物等の薬品管理調査件。地下水汚染未然防止マニュアル作成の件。等々スライドを用いて細かくご説明頂きました。

また、25年度の幹事県は長野県と新潟県に決定し、次回のブロック会議は長野で開催されることとなりました。

第二部の記念講演は、休憩時間をはさみ、学校法人常葉学園参事 浜松大学教授 東海大学名誉教授 社団法人日本プロゴルフ協会 学術委員 の田中誠一先生より「転ばない中高年」という演題で行われました。

からだの仕組みや機能の話をと

てもわかりやすく説明していた  
 だき、普段よく耳にするプロゴル  
 ファーの名前も出てきて非常に榮  
 しいご講演で、翌日ゴルフに行か  
 れる方が多いこともあり、とても  
 和やかな雰囲気です閉会をしまし  
 た。

第三部の懇親会は、8テーブル  
 71名にて盛大に行われ、地元浜松  
 の郷土料理に舌づつみをうち、芸  
 者さんの三味線に耳を傾けなが  
 らの和やかな雰囲気の中、各県の  
 方々入り混じって皆さん笑顔でグ  
 ラスを傾け、盛んに情報交換をさ  
 れている様子でした。

この景気感の読めないご時世で  
 すが、各企業・各県の組合が前向き  
 に取組んでいる雰囲気を感ずる事  
 が出来て、たいへん有意義な時間  
 を過ごすことができました。  
 幹事県の皆様ありがとうございました。

専務理事 吉田幸司

# 「全国鍍金工業組合連合会 第50回全国大会」

「変革のとき・未来づくりへ」  
 ～我らの「ビジョン」、確かな技術と人材で未来を掴め～

平成24年11月22日(木)午後2時  
 より機械振興会館にて第50回の記  
 念大会が出席者多数のもとで盛大  
 に行われました。

式典は国家斉唱、業界の物故者  
 への黙祷の後、主催者を代表して  
 伊藤豪会長の挨拶では「今年も業  
 界を取り巻く状況は大変厳しく、  
 国内はもとより海外を含め先の見  
 えぬ状況に変わりがない。めつ  
 きの業界として未来を掴むべく、  
 学識者・執行部役員・若手経営者の  
 方々により、めつき業界が明るく  
 輝かしい未来をどのようにするか  
 を「めつき業ビジョン2012」  
 として作成、まもなく皆様のお手  
 元に渡りますのでそれぞれの事業  
 所の明るい未来づくりの指針とし  
 てお役立て頂きますようお願いし  
 ます」との、前向きなお話で大会が

スタートしました。

## 第50回全国大会表彰

### ①特別功労賞(1名)

松永 守央氏

国立大学法人九州工業大学学長工

学博士

九州めつき工業組合での人材育

成に経済産業省「産学連携製造中



核人材育成事業」として「インテリ  
 ジェントめつき中核人材育成」の  
 中心で活躍された。そのプロジェ  
 クトで累計230名の修了生が  
 輩出され現在めつき事業所の中核  
 をなし活躍している

### ②組合功労役員(36名)

小築 憲一氏

(有)小築鍍金工業所

井上 宣雄氏

新田興業(株)

田中 知雄氏

(株)精硬クローム工業

饗場 功治

(株)潮工業

### ③環境整備優良事業所(13社)

(有)吉田商店

### ④全国めつき技術コンクール(91

件)

日刊工業新聞社賞

研磨・裝飾クロムめっき部門

(株)斐野テックス

長谷川 学氏

の各名が埼玉県では表彰されました。

⑤卓越した技能者・現代の名工(1名)

中野 寛文氏

(株)九州電化(九州めっき工業組合)

今回の議事では、

議案1 第49回全国大会決議事項の経過報告及び「めっき業ビジョン」答申、ブロック会議経過報告



議案2 大会宣言「変革のとき・未来づくりへ」(「我らの『ビジョン』

確かな技術と人材で未来を掴め」が提出され、産業構造が複雑化かつグローバル化する中、業界をリードしてきた先輩の知識と知恵を時間をかけて若手に伝承しこの業界が全体で盛り上がる活力となれば、明るいめっき業の未来が見えてくる機会を今回作り上げたいとの思いと説明があり、参加者全員の拍手で宣言案が採択されました。

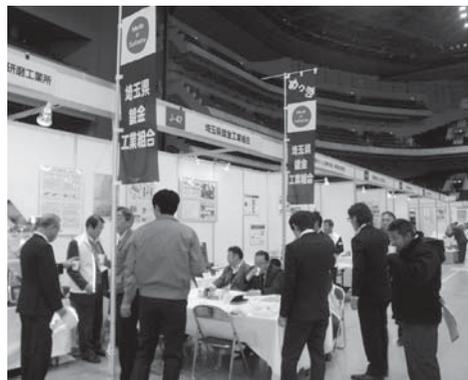
会場を移して、多くのご来賓を交え懇親会が開宴して、全国から集まっためっき業の面々は情報交換などで中締めの声がかかるまで大いに盛り上がりました。

尚埼玉からは島村周作名誉顧問、仁科理事長、石下・小林副理事長、吉田専務理事、井上・矢嶋・饗場常任理事と受賞者の小築氏甲斐野氏が参加されました。

技術委員長 饗場功治

## 彩の国ビジネスアリーナ2013

「さいたまスーパーアリーナ」

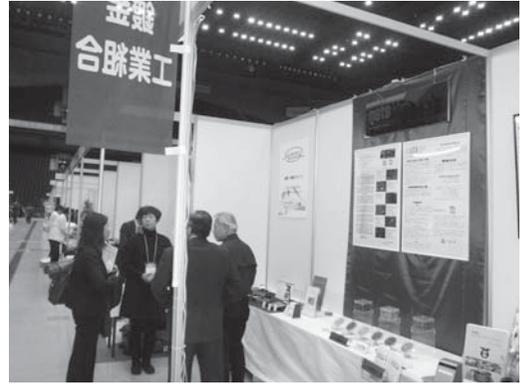


今年も平成25年1月30日(水)31日(木)の2日間の日程で埼玉県内最大の展示会が開催されます。昨年に引き続き今回で3回目となる「めっき組合」の名の下に有志企業が集まり各事業所のアピールを致します。

通常の展示ブースの1コマ分は3mで、大人の歩幅で約3〜4歩。そのような短時間で我々の「め

き」という情報を伝えるにはあまりにも時間が足りません。今回は5コマ・5コマを対面に配置して15m分のめっき通りを作り「めっき」のほりを掲げて、対外的なアピールをしたいと考えています。今までの参加された事業所では新規の顧客獲得に繋がり、成果が出ているという話が聞かれています。また、1企業で出展するには敷居が高く出展に足踏みしている事業所が多く出展していることや出展料を抑える意味でもブースを2分割すること、電気代などの経費も皆で分割できるなども組合で参加するメリットが生まれています。主催の埼玉県や産業振興公社も組合での出展に好意的で場所の事前選定など様々な恩恵を頂いております。

毎年2月に開催されている「埼玉



玉県めつき技術競技会と排水優良事業所の表彰式をビジネスアリーナ開催に合わせ、さいたまスリーパーアリーナに隣接した施設で執り行われることになり、ますます埼玉県鍍金工業組合の事業を対外的に広く知っていただけるように考えております。

今回の参加企業は

(有)石田電解研磨工業所

(株)潮工業

(株)甲斐野テックス

(株)小林鍍金工業

(株)サニー電化

(有)島田工業所

新硬クローム工業(株)

スリーケ(株)

高松電鍍工業(株)

仁科工業(株)

新田興業(株)

(株)明光社

(有)吉田商店

(五十音順) 11月末時点参加表明

企業)の13社と組合の総合案内

ブースにて沢山のお客様との出会いを楽しみにしています。

技術委員長 饗場功治

編集後記



表紙の写真は恵林寺(えりんじ)です。

武田信玄の菩提寺です。夢窓国師(むそうこくし)が1330年(元徳2)に開山した古刹です。山号は乾徳山(けんとくさん)。臨済宗妙心寺派の寺院です。

樹木の茂る境内は広く、豪壮な本堂や参道の赤門(四脚門)(重要文化財)のほか、宝物館などもあり

ます。

本堂裏手の池泉回遊式庭園(名勝)も有名で、上段は枯山水、下段は心字池と築山の2段構えの美しさを見せています。本堂の左手奥に立つ多層塔が信玄の墓です。

山梨県甲州市塩山小屋敷2280(旧塩山市)

JR塩山駅から山梨交通バスで天科、西沢溪谷方面行、または窪平方面行(15分)恵林寺下車徒歩すぐ中央道勝沼IC国道411号20分

拝観300円(信玄公宝物館500円、共通券700円)営業時間8時30分~16時30分年中無休

印刷

保証企画工業株式会社

〒110-0012

東京都台東区竜泉1-4-3

TEL03(3875)1641